

電算システムの導入について

1 システム導入の趣旨

地方独立行政法人化に伴い、県立2病院は県の組織から独立することとなるが、県のネットワークセキュリティ管理等の関係上、現在使用している県の共通電算システムは使用できなくなる見込みである。

そのため、現在、給与計算等の電算処理を県の共通電算システムに依存している人事給与関係事務においては、独自に人事給与システムを導入する必要がある。

また、財務会計関係事務においては、新たに地方独立行政法人会計基準への対応が必要となるが、会計処理事務の効率化はもちろん、迅速に財務関係情報を集約し、適切な経営分析に資するため、地方独立行政法人制度に対応した財務会計システムを導入する必要がある。

(県内独法化先行事例の県立大学等においても、同様の趣旨でシステム導入がなされている。)

2 システムの概要

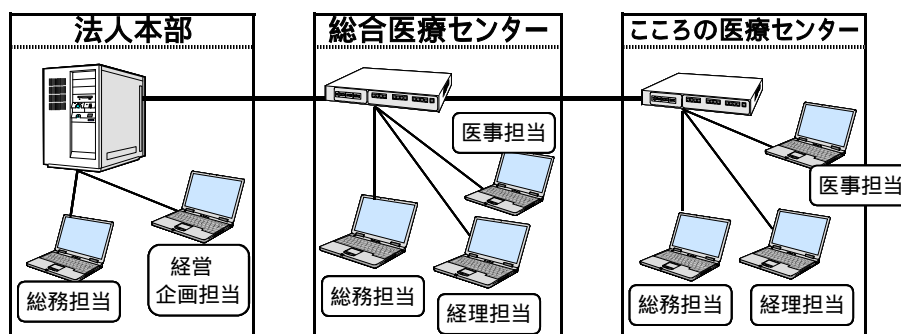
財務会計等電算システムの概要

財務会計システム	・財務会計	会計処理
	・予算管理	予算編成・予算執行管理
	・資産管理	固定資産等管理
	・債務管理	金融機関支払管理

データ連携

人事給与システム	・人事管理	人事履歴等管理
	・勤怠管理	休暇等管理
	・給与計算	給与計算・支給管理
	・旅費計算	旅費計算

ネットワーク構成の概要



3 導入にあたっての考え方

- (1) 地方独立行政法人制度に柔軟に対応できるシステムを短期間で導入する必要があること
- (2) 導入および運用に必要な経費について可能な限り節減を図る必要があること



地方独立行政法人制度に対応した既製のソフトウェアを山口県版に改修(カスタマイズ)する方向で検討する。

4 導入スケジュール(予定)

H21	H22												H23		
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	予算要求・仕様書作成			仕様書調整・入札公告等		入札	システム構築						操作研修・試行運用		